

平成 25 年 7 月 9 日

各 位

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
代表者 代表取締役社長 伊藤 雅文
(コード番号 6255)
問合せ先責任者 取締役副社長 佐藤 寿
(TEL 03-5615-5069)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 4 月 9 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、特別損失が発生いたしますのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 25 年 8 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,220	△533	△212	4	0.19
今回修正予想(B)	4,998	△1,872	△1,717	△2,192	△99.40
増減額(B-A)	△3,222	△1,339	△1,505	△2,196	
増減率(%)	△39.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 8 月期)	9,446	△945	△1,194	△1,806	△90.79

平成 25 年 8 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 9 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,000	△318	41	258	11.72
今回修正予想(B)	3,695	△976	△802	△2,264	△102.70
増減額(B-A)	△3,305	△658	△843	△2,522	
増減率(%)	△47.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年 8 月期)	8,138	△454	△635	△1,542	△77.56

修正の理由

平成 25 年 8 月期通期の連結業績予想修正の理由は、以下のとおりであります。

当社グループが属する太陽電池業界におきましては、再生可能エネルギーの全量買取制度を背景に日本国内の太陽電池市場が急激な拡大を見せていることで、当社の太陽電池モジュール受託加工ビジネスでは、新たに大型の長期契約を締結しました。一方で、製造装置ビジネスにおいては、日本、北米、中国の太陽電池の設置需要が拡大しており、当社の顧客である太陽電池メーカーは製品生産のために既設製造装置の稼働率は向上しておりますが、引き続き新規設備投資に慎重な姿勢を維持したため、本格的な装置受注の回復には至りませんでした。そのため、下期に受注して今期中に売上計上することを見込んでいた案件について、受注の獲得に遅れが生じております。また、既に受注している案件につきましても、市場動向を見極めたうえで設置時期を見直す計画が出ており、今期中に売上計上することができなくなった案件が増加しました。

そのような状況下、上述の理由により売上高は前回発表予想よりも低水準で推移し、また、受託加工ビジネスによる売上高が本格的に業績に寄与するのは来期以降であるため、売上高につきましては、前回発表予想より 3,222 百万円減少し、4,998 百万円となる見込みであります。一方で、前期に実施した経営合理化策の効果や、工場稼働率を上昇させる等の原価削減策を進めたことにより、費用の削減は概ね予定通り進捗しております。しかしながら、平成 25 年 7 月 9 日開示の「連結子会社の解散及び清算に向けた手続き開始に関するお知らせ」のとおり、解散及び清算に向けた手続きを開始している NPC-Meier GmbH（以下、「NMG」という）における経営環境の悪化に伴い、売上高が前回発表予想を下回ったため利益が低下し、貸倒費用等の諸経費も増加したことにより営業損失が拡大することとなりました。更に、売上高が前回発表予想を下回ることで固定費の圧迫により利益率が低下しました。それらに伴い、営業損失につきましては、前回発表予想より 1,339 百万円拡大し、1,872 百万円となる見込みであります。経常損失につきましては、前回発表予想より 1,505 百万円拡大し、1,717 百万円となる見込みであります。特別損失につきましては、NMG を解散及び清算することを前提とし、また、同様にアジア地域において当社装置の販売支援及び保守サービスを担当している NPC Taiwan Co., Ltd. 及び NPC Korea Co., Ltd. を解散することに伴い、当該 3 社の退職金・弁護士費用・事務所解約費用等を見込んだ引当金 238 百万円及び、出資金に対する為替換算調整勘定の取崩 330 百万円を特別損失として計上する予定であります。それに伴い、当期純損益につきましては、前回発表予想より 2,196 百万円減少し、2,192 百万円の当期純損失を計上する見込みであります。

平成 25 年 8 月期通期の個別業績予想修正の理由としては、上記連結業績予想修正の理由に加え、NMG への貸付金等の回収不能見込額 1,595 百万円を特別損失として計上する見込みであります。このような結果、個別売上高につきましては、前回発表予想より 3,305 百万円減少し、3,695 百万円となる見込みであります。営業損失につきましては、658 百万円拡大し、976 百万円となる見込みであります。経常損益につきましては、843 百万円減少し、802 百万円の経常損失を計上する見込みであります。当期純損益につきましては、2,522 百万円減少し、2,264 百万円の当期純損失を計上する見込みであります。

(注) 上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上